



よつば便り

平成 22 年 9 月
よつばの会発行
NO. 1

「よつばの会」平成二十一年十月

より活動を開始しました。見た目にはわかりにくい障害を持つ子どもが参加しています。一人ひとりの力は小さいですが、支援を受けて活動をする中で、自己肯定感や人とのふれあい、感謝の気持ちや人の役に立つ喜びを知る事が出来ます。少しの支援で頑張れる子供が大勢ことを知って下さい。

「よつばの会では」障害を持つ子どもの職業体験（ふれジョブ）を中心に活動しています。

「ふれジョブ活動」保護者・地域の住民・地域の企業・地域の行政機関の四者がつながって支援し、温かい地域と人の輪を広げていきます。

「ふれジョブ」小学校高学年からの支援を必要とする（障害を持つ）

子ども達が、サポーターと呼ばれる地域の大人の支援を受け、週に一度一時間、地域の企業や行政施設で、職業経験を積み重ねる活動です。

受け入れ企業紹介

- ・ デジタルミュージアム
- ・ オニビジョン
- ・ 菊花堂（菓子製造業）



活動地域紹介

- ・ 旭川荘トモニ
- ・ PAPAS（美容院）
- ・ 岡山市行政施設など
- ・ 岡輝学区
- ・ 操山学区
- ・ 京山学区

活動の目的①

子どもが社会へ出るまでの十年間、働く経験を積み重ね人と関わりを持ち、障害の特性として持っている、初めての事や苦手な事を経験して不安感を減らす。支援の必要な子どもの存在を、活動を通して地域の人に知ってもらう。安心して暮らせる地域のベースを作り、子どもを社会へ託す機会を持つ。

活動の目的②

地域の人たちは、誰でも誰かの力になれば、子ども達の支援を通して、温かい地域作りに関われる。地域に住む子どももあり

のままの姿と、その家族の思いを知る事が出来、近所を知る機会になる。

企業では障害を持つ子どもと職業体験と言う形で関わる事が出来る。地域内で社会貢献活動が出来る。

障害者雇用を考える機会と、一緒に働く社員の障害者への理解が広がる。

ふれジョブ活動をして
いる会員の紹介

Aさん（高校三年生）

パソコンが得意でデジタルミュージアムでは、資料の整理などに挑戦しました。今はオニビジョンでふれジョブ中です。

おかあさんのことば



始める前は不安もありましたが、サポーターさんや企業の方の温かい声かけと支援で頑張れています。自信を持ちにくい年代ですが、親以外の大人の中で見守られ、働くことを身近に学び、学校とは違う、貴重な経験ができています。活動に関わっ

て下さっている方一人一人に感謝し、これからも障害と活動の理解啓発に努めていきます。

（母）

Y君（小学校五年生）

菊花堂さんではお菓子の袋詰めやお菓子の上に飾りを置いたりして作る喜びを知りました。

今は岡輝公民館でふれジョブ中です。

おかあさんのことば



菊花堂へ行っていたある日の事、辛い事が有り車の中で泣いていました。菊花堂へ着いてからも涙が止まりません。ポロポロ涙を流している息子を見て、菊花堂のご主人が言いました。

「今日は頑張らんでもええぞ！できん日があってもええぞ！」「そのひと言で、気持ちの切り替えが出来た勇氣は、その日の仕事を無事に終える事が出来たのです。息子以上に救われたのは私の方かも知れません。

（母）